



青春の フォトスケッチ

高校写真部の生徒が
とらえた心に残る1枚



宇都宮短期大学附属高校
水沼 環 さん



卒業写真

作者のコメント

卒業式を終えた先輩の笑顔に引かれました。デジタル写真が当たり前の時代ですが、白黒フィルムで撮った写真にはぬくもりを感じます。

今、輝いてる市民

はっらっ宮っ子

栄光は厳しい練習の先に

作新学院高校 吉野 修一郎さん

3月に行われた全国高等学校選抜大会。全国各地から集まった精鋭がそれぞれの種目でぶつかり合う中、ボクシングのライトウェルター級で当時高校1年生だった吉野修一郎さんが頂点に立ちました。「絶対に負けない」そんな強い気持ちを持って、今まで練習を積み重ねた成果を全て出し切るつもりで試合に臨みました。「優勝できて、とても嬉しかった」と大会を振り返ります。

ボクシングをしていた父やおじの影響で、小学生のころからボクシングが好きだったという吉野さん。中学2年生の終わりに、自らも見る側からプレーする側になりました。中学時代は父に教えられながら自宅で練習するほか、県アマチュアボクシング連盟が行っているボクシング教室で、作新学院高校の生徒と一緒に練習することもあったそうです。

現在は、高校のボクシング部に所属し、練習の日々を送っています。部のOBとスパーリングなど実践形式の練習をすることもあり、「先輩との練習がなかったら優勝できなかったと思う」と語るほど、その影響は大きいようです。

吉野さんの次の目標は、インターハイ優勝。「練習はうそをつきません。さまざまな厳しい練習を積み重ねて、また優勝したい」と、力強い拳で、再び頂点を目指しています。

